

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期気仙沼市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県気仙沼市

3 地域再生計画の区域

宮城県気仙沼市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、東日本大震災により、多くの尊い命とともに自然や財産等幾多のものを失い、市民生活や地域経済は壊滅的な被害を受け、沿岸部の地域コミュニティが崩壊した。

また、本市の人口は、1980年（昭和55年）の92,246人（旧気仙沼市、旧唐桑町、旧本吉町の合計）をピークに減少しており、2020年（令和2年）国勢調査では61,147人まで減少し、国立社会保障・人口問題研究所によると、2045年（令和27年）には、2020年比で59.1%（36,182人）まで落ち込むと推計され、少子化や転出超過が続くと見込まれている。

年齢3区分別の人口動態をみると、震災前の2010年には8,746人であった年少人口（0～14歳）は、2020年には5,431人となった一方、老年人口（65歳以上）は2010年の22,600人から2020年には23,613人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2010年の42,004人から減少しており、2020年には32,103人となっている。

自然動態をみると、2001年以降、死亡が出生を上回る自然減に転じており、出生数は2010年の434人から減少し、2023年には205人となっている。その一方で、死亡数は2023年には1,093人と増加傾向にあり、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲888人（自然減）となっている。

社会動態をみると、従来より転出が転入を上回る転出超過の状態が続いている。

近年では、転入が1,200人から1,400人程度、転出が1,700人から1,900人程度で推移しており、2023年には▲386人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

少子化の要因は、未婚率の上昇や晩婚化、若い女性の人口流出、女性の社会進出に伴う子育て環境の変化等であり、転出超過の要因は、市内に大学等の高等教育機関がないことや就職先の選択肢が限られること等である。さらに、これらの直接的な原因のほか、情報化社会の進展に伴うライフスタイルの多様化、核家族化、地域コミュニティの希薄化、都市部との賃金格差、地域医療の衰退等、様々な要素が複雑に影響している。

人口減少や震災の影響は、地域経済の落込みや担い手不足、行政サービスの低下を招き、小さな集落だけでなくまち全体の消滅が危ぶまれている。

このことから、本市が抱える少子化や若者の流出による人口減少と全国平均から数年先を行く高齢化対策という課題に対応するため、次に掲げる基本目標の達成を図ることにより、人口減少に歯止めをかけ、地域活性化による持続可能なまちづくりを行う。

- ・基本目標Ⅰ－１ 市民が主役のまちづくりを推進する
- ・基本目標Ⅰ－２ 地域の資産・資源を活かした持続可能なまちづくりを推進する
- ・基本目標Ⅱ－１ 地域の魅力を磨き、全国・全世界とつながり、挑戦し続ける産業のまちをつくる
- ・基本目標Ⅱ－２ 結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちをつくる
- ・基本目標Ⅱ－３ 人間力・挑戦する心・地域愛を育むまちをつくる
- ・基本目標Ⅱ－４ 豊かな自然や食文化を大切にし、誇りに思い、語ることができるまちをつくる
- ・基本目標Ⅱ－５ 一人一人が生きがいを持ち、健康で暮らせるまちをつくる
- ・基本目標Ⅱ－６ 自分らしさを生かしながら、思いやり、支え合えるまちをつくる
- ・基本目標Ⅱ－７ 高い防災力を維持する災害に強いまちをつくる
- ・基本目標Ⅱ－８ 安全で安心できる住み続けたいまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	人材育成プログラム卒業生（経営人材）	106人	60人	基本目標 I - 1
ア	人材育成プログラム卒業生（まちづくり人材）	260人	400人	基本目標 I - 1
ア	共通のテーマにおいて重点的に取り組むべきプロジェクト数	2	10	基本目標 I - 1
ア	地域活性化支援員を配置したまちづくり協議会	7 組織	11組織	基本目標 I - 1
ア	地域によって主体的に運営され、多機能化した施設（まちづくりセンター）	—	3 施設	基本目標 I - 1
ア	公共の一部を担うなど多機能な自治運営を行うコミュニティ組織	—	3 組織	基本目標 I - 1
ア	コミュニティビジネスソーシャルビジネスの新規支援事例	15事例	6 事例	基本目標 I - 1
ア	審議会等委員への女性の登用	24. 2%	40%以上, 60%以下	基本目標 I - 1
ア	「家庭や職場で男女が平等になっている」と思う人の割合	28. 3%	33%以上	基本目標 I - 1
イ	職員数	正規職員740人 災害支援職員等198人 会計年度任用職員 432人 計1,370人	正規職員667人 災害支援職員等0人 会計年度任用職員 380人 計1,047人	基本目標 I - 2
イ	経常経費の削減額	—円	13億円	基本目標 I - 2
イ	市税収納率	92. 7%	97. 6%	基本目標 I - 2
イ	ふるさと納税の寄附金額	2. 2億円	10億円	基本目標 I - 2
イ	公営企業への基準外繰出金	7. 8億円	7. 4億円	基本目標 1 - 2
イ	水道料金現年度分収納率	98. 11%	98. 5%	基本目標 I - 2
イ	水道事業営業収支比率	91. 39%	105%	基本目標 I - 2
イ	下水道区域水洗化率	80. 1%	83. 2%	基本目標 I - 2
イ	下水道経費回収率	78. 1%	79. 3%	基本目標 I - 2

イ	需要家数（都市ガス・プロパンガス）	3,018戸	2,960戸	基本目標Ⅰ－２
イ	ガス年間販売量（都市ガス・プロパンガス）	116万4千m ³	123万7千m ³	基本目標Ⅰ－２
イ	病床利用率（市立病院）	76.9%	80.4%	基本目標Ⅰ－２
イ	経常収支比率（市立病院）	91.7%	92.0%	基本目標Ⅰ－２
イ	医業収支比率（市立病院）	78.9%	80.0%	基本目標Ⅰ－２
イ	病床利用率（市立本吉病院）	74.2%	82.0%	基本目標Ⅰ－２
イ	市公式ウェブサイトアクセス数（延べ人数）	88,215件／月	97,000件／月	基本目標Ⅰ－２
イ	Facebookアクセス数	15,744件／月	17,318件／月	基本目標Ⅰ－２
イ	LINE登録者数	5,601人	9,000人	基本目標Ⅰ－２
イ	被災市街地復興土地区画整理事業地内遊休市有地の利活用割合	26.9%	100%	基本目標Ⅰ－２
イ	移転元地のうち利活用可能な市有地の利活用割合	73.6%	100%	基本目標Ⅰ－２
イ	シェアリングエコノミー活用数	2件	6件	基本目標Ⅰ－２
ウ	水産加工品生産額	383億円	455億円	基本目標Ⅱ－１
ウ	HACCP認定・認証施設数	16施設	37施設	基本目標Ⅱ－１
ウ	地理的表示（GI）保護制度登録商品	0商品	2商品	基本目標Ⅱ－１
ウ	気仙沼市魚市場取扱数量	70,886トン	90,000トン	基本目標Ⅱ－１
ウ	気仙沼市魚市場取扱金額	173億円	218億円	基本目標Ⅱ－１
ウ	水産物・水産加工品輸出量	9,262トン	14,800トン	基本目標Ⅱ－１
ウ	沿岸漁業生産数量	6,900トン	12,000トン	基本目標Ⅱ－１
ウ	沿岸漁業生産金額	24億円	35億円	基本目標Ⅱ－１
ウ	経営耕地面積	779ha	779ha	基本目標Ⅱ－１
ウ	民有林間伐施業面積	190ha	200ha	基本目標Ⅱ－１
ウ	民有林造林面積	22ha	23ha	基本目標Ⅱ－１
ウ	求評見本市バイヤー数	180社330人	320社540人	基本目標Ⅱ－１
ウ	食料品製造業出荷額等	481億円	680億円	基本目標Ⅱ－１
ウ	製造品出荷額等	815億円	871億円	基本目標Ⅱ－１
ウ	地域経済循環率	48.8%	80%	基本目標Ⅱ－１
ウ	市の創業支援件数	14件	5事業者／年	基本目標Ⅱ－１
ウ	市の誘致による企業立地件数	5件	1事業者／年	基本目標Ⅱ－１
ウ	高卒新卒就職者のハローワーク気仙沼管内就職率	55%	60%	基本目標Ⅱ－１

ウ	外国人技能実習生の定着率	18.5%	25%	基本目標Ⅱ－1
ウ	観光宿泊者数	24万4千人	35万5千人	基本目標Ⅱ－1
ウ	気仙沼ファンクラブの 会員数	10,578人	17,000人	基本目標Ⅱ－1
エ	25歳～29歳の未婚率	男性74.5% 女性58.8%	男性72.0% 女性58.0%	基本目標Ⅱ－2
エ	35歳～39歳の未婚率	男性41.3% 女性24.4%	男性35.0% 女性24.0%	基本目標Ⅱ－2
エ	4か月児・1歳6か月児・ 3歳児健診において、こ の地域で今後も子育てを したいと思う割合	92.5%	95.0%	基本目標Ⅱ－2
エ	3歳児健診において子 育てを楽しんでいると感 じる母親の割合	86.9%	86.9%超	基本目標Ⅱ－2
エ	3歳児健診において虫 歯のない子どもの割合	78.9%	90.0%	基本目標Ⅱ－2
エ	保育サービスに満足し ている割合	78.0%	80.0%	基本目標Ⅱ－2
エ	子育てに関する相談窓 口・支援に満足している 割合	66.0%	80%	基本目標Ⅱ－2
エ	子育てに関する情報提 供に満足している割合	55.2%	80%	基本目標Ⅱ－2
エ	保育所の待機児童数	6人	0人	基本目標Ⅱ－2
エ	合計特殊出生率	1.17	1.60	基本目標Ⅱ－2
エ	ひとり親家庭への支援 に満足している割合	56.9%	80%	基本目標Ⅱ－2
エ	障害がある子どもの支 援に満足している割合	56.8%	80%	基本目標Ⅱ－2
オ	全国学力学習状況調査 の平均正答率（全国比）	小学校6年生 国語97 算数94 中学校3年生 国語99 数学97	小学校6年生 国語105 算数102 中学校3年生 国語105 数学102	基本目標Ⅱ－3
オ	「なぜ？」「考えてみた い」などの問いや願いを 持ち、学習に取り組む児 童生徒割合	小学校6年生 81.3% 中学校3年生 86.1%	小学校6年生 90.0% 中学校3年生 90.0%	基本目標Ⅱ－3
オ	学校の授業以外で読書（ 教科書，参考書，漫画，	小学校6年生 21.3%	小学校6年生 10.0	基本目標Ⅱ－3

	雑誌以外)を全くしない 児童生徒の割合	中学校3年生 25.3%	中学校3年生 10.0	
オ	難しいことでも失敗を 恐れず挑戦すると答える 児童生徒の割合	小学校6年生 71.3% 中学校3年生 65.4%	小学校6年生 85.0% 中学校3年生 85.0%	基本目標Ⅱ－3
オ	地域や社会をよくする ために何をなすべきか 考えると答える児童生 徒の割合	小学校6年生 74.3% 中学校3年生 70.3%	小学校6年生 90.0% 中学校3年生 90.0%	基本目標Ⅱ－3
オ	自分にはよいところがある と答える児童生徒 の割合	小学校6年生 70.6% 中学校3年生 73.5%	小学校6年生 85.0% 中学校3年生 85.0%	基本目標Ⅱ－3
オ	(小)外国の人と友達に なったり,外国のことを もっと知ったりしてみたい と答える児童の割合 (中)将来,海外へ留学し たり,国際的な仕事につ いたりしてみたいと答える 生徒の割合	小学校6年生 63.4% 中学校3年生 27.4%	小学校6年生 80.0% 中学校3年生 40.0%	基本目標Ⅱ－3
オ	英検ⅠＢＡ(中学2年生 対象)	①分野別正答率 語彙・熟語・文法 73.3 読解66.9 リスニング71.8 ②英検級レベル分布 3級レベル9.6 4級レベル36.4	①分野別正答率 語彙・熟語・文法 80.0 読解80.0 リスニング80.0 ②英検級レベル分布 3級レベル20.0 4級レベル50.0	基本目標Ⅱ－3
オ	公民館における社会教育 事業に参加した市民	10,529人	35,000人	基本目標Ⅱ－3
オ	気仙沼市スポーツ施設 の利用件数	2,680件	4,500件	基本目標Ⅱ－3
オ	市民会館等で文化芸術事 業に参加した市民の数	5,959人	35,000人	基本目標Ⅱ－3
カ	気仙沼市環境美化市民 総ぐるみ運動「全市一斉 清掃」参加者	10,677人	12,600人	基本目標Ⅱ－4
カ	プラスチック・スマート 参画団体	3団体	10団体	基本目標Ⅱ－4

カ	市公共施設エネルギー 使用量 (CO ₂ 排出量換算)	18,515t-CO ₂	17,000t-CO ₂	基本目標Ⅱ－４
カ	ごみ総排出量	21,779t	18,159t以下	基本目標Ⅱ－４
カ	１日１人当たりのごみ 排出量	979g	900g	基本目標Ⅱ－４
カ	資源化率	12.6%	15%以上	基本目標Ⅱ－４
カ	最終処分率	12.9%	12%以下	基本目標Ⅱ－４
カ	資源化物リサイクル奨 励金申請団体数	49団体	55団体以上	基本目標Ⅱ－４
カ	施設見学への参加者数	277人	550人以上	基本目標Ⅱ－４
カ	出前講座への参加者数	211人	500人以上	基本目標Ⅱ－４
カ	国産や地元産の食材を 意識して購入する割合	71.4%	83%以上	基本目標Ⅱ－４
カ	朝食を欠食する中学生 の割合	中学校２年生 5.8%	2%以下	基本目標Ⅱ－４
カ	３食とも主食・主菜・副 菜の揃った食事を食べ ている割合	50.6%	70%以上	基本目標Ⅱ－４
カ	週３回以上魚を食べる割合	34.6%	60%以上	基本目標Ⅱ－４
カ	学校給食で使用した野菜 (いも類含む)、豆類、果 物・きのこ類の総野菜等 品目数のうち県内産野菜 等品目数の利用割合	26.7%	28%以上	基本目標Ⅱ－４
キ	健康寿命	男性78.83歳 女性83.84歳	男性80.0歳 女性87.0歳	基本目標Ⅱ－５
キ	がん検診平均受診率	25.5%	50.0%	基本目標Ⅱ－５
キ	特定健康診査受診率	43.3%	65.0%	基本目標Ⅱ－５
キ	悩みなどを気軽に相談で きる相手がいる人の割合	73.4%	80.0%	基本目標Ⅱ－５
キ	歯周病健診受診率	10.5%	12.0%	基本目標Ⅱ－５
キ	・在宅訪問診療を実施す る診療所及び病院数 ・在宅歯科診療を実施す る歯科医療機関数 ・在宅患者訪問管理指導 を実施する調剤薬局数	7か所 10か所 15か所	7か所以上 10か所以上 15か所以上	基本目標Ⅱ－５
キ	回復期リハビリテーシ ョン病棟の稼働病床数 (市立病院)	36床	48床	基本目標Ⅱ－５
キ	在宅復帰率 (市立本吉病院)	88.3%	90.0%	基本目標Ⅱ－５

ク	高齢者の通いの場の実施団体数	67団体	100団体	基本目標Ⅱ－6
ク	小地区（地域社会福協議会）福祉活動実施地区数	4地区	16地区	基本目標Ⅱ－6
ク	要介護認定率	19.23%	22.0%	基本目標Ⅱ－6
ク	介護予防サポーター登録者数	224人	300人	基本目標Ⅱ－6
ク	認知症サポーター養成講座受講者数	9,355人	500人／年	基本目標Ⅱ－6
ク	高齢者の通いの場への参加者数及び割合	684人	1,180人	基本目標Ⅱ－6
ク	救急医療情報キット利用者数	54.0%	60.0%	基本目標Ⅱ－6
ク	地域生活支援拠点等の整備	－	1か所	基本目標Ⅱ－6
ク	ハローワーク気仙沼紹介延べ一般事業所への障害者就職者数	61人	64人	基本目標Ⅱ－6
ク	障害者就業・生活支援センター「かなえ」利用者の一般事業所への障害者就職数	32人	34人	基本目標Ⅱ－6
ク	就労支援事業による修了者数又は増収者数	2人	7人	基本目標Ⅱ－6
ク	生活困窮者自立相談支援新規相談件数	135件／年	150件／年	基本目標Ⅱ－6
ク	住民自治組織の組織率	91%	100%	基本目標Ⅱ－6
ク	NPO法人数	28法人	34法人	基本目標Ⅱ－6
ク	移住・定住相談問合せ件数	171件／年	260件／年	基本目標Ⅱ－6
ク	空き家バンク登録物件の成約件数	10件／年	15件／年	基本目標Ⅱ－6
ケ	自主防災組織の組織率	63.7%	100%	基本目標Ⅱ－7
ケ	避難行動要支援者避難支援個別計画策定着手済の自治組織率	79.1%	100%	基本目標Ⅱ－7
ケ	消防団員数	708人	720人	基本目標Ⅱ－7
コ	平和作文コンクール応募者数	203人	500人	基本目標Ⅱ－8
コ	交通安全教室の実施	339回実施	90回実施／年	基本目標Ⅱ－8
コ	自主防犯組織活動数	22団体	23団体	基本目標Ⅱ－8
コ	交通死亡事故ゼロの達成	交通事故死者数 11名	交通事故死者数 0名	基本目標Ⅱ－8

コ	交通事故のないまちの達成	交通事故（人身）発生件数 75件	交通事故（人身）発生件数 80件以下	基本目標Ⅱ－８
コ	消費生活講座の理解度	－	100%	基本目標Ⅱ－８
コ	市道改良済延長	487.8km	529.2km	基本目標Ⅱ－８
コ	市道舗装済延長	621.7km	632.5km	基本目標Ⅱ－８
コ	都市計画道路整備率	34.62km	48.11km	基本目標Ⅱ－８
コ	都市公園数	35か所	39か所	基本目標Ⅱ－８
コ	都市公園のトイレの水洗化	22施設	26施設	基本目標Ⅱ－８
コ	耐震化率の向上	一般住宅 81.3% 市有建築物 90.9%	一般住宅 95%以上 市有建築物 100%	基本目標Ⅱ－８
コ	有収率	71.7%	80.7%	基本目標Ⅱ－８
コ	污水处理人口普及率	49.4%	61.4%	基本目標Ⅱ－８
コ	污水处理区域面積	622.9ha	735.8ha	基本目標Ⅱ－８
コ	「デジタル・ガバメント 実行計画」において地方 公共団体が優先的にオン ライン化を推進すべきと した手続のうち、オンラ イン申請可能手続数	14/49手続	50/50手続	基本目標Ⅱ－８

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【Ａ２００７】

① 事業の名称

第２期気仙沼市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 市民が主役のまちづくりを推進する事業

イ 地域の資産・資源を活かした持続可能なまちづくりを推進する事業

ウ 地域の魅力を磨き、全国・全世界とつながり、挑戦し続ける産業のまち
をつくる事業

- エ 結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちをつくる事業
- オ 人間力・挑戦する心・地域愛を育むまちをつくる事業
- カ 豊かな自然や食文化を大切にし、誇りに思い、語ることができるまちをつくる事業
- キ 一人一人が生きがいを持ち、健康で暮らせるまちをつくる事業
- ク 自分らしさを生かしながら、思いやり、支え合えるまちをつくる事業
- ケ 高い防災力を維持する災害に強いまちをつくる事業
- コ 安全で安心できる住み続けたいまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 市民が主役のまちづくりを推進する事業

地域リーダー育成を基礎とし、住民と行政、営利（産業）と非営利が世代や立場を超え、対話を通じ進むべきベクトルを合わせながら、共創、協働を行う住民参加によるまちづくりをまちまるごと大学「まち大学構想」として展開する。

【具体的な事業】

- ・産業人材・まちづくり人材の育成、対話・共創の場の活用
- ・住民自治と協働の推進
- ・公民館の多機能化・まちづくりセンター化の検討
- ・地域コミュニティの多機能化の推進
- ・コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスの促進
- ・男女共同参画、女性活躍の推進、多文化共生社会の推進 等

イ 地域の資産・資源を活かした持続可能なまちづくりを推進する事業

健全で効率的かつ効果的な行財政運営を行う。

また、地域の資産・資源を有効活用し、賑わいと産業を創出することにより、域外からのお金を呼び込み、経済の地域内循環を活発にする。

【具体的な事業】

- ・効率的な行政運営と人材育成
- ・財政運営の健全化
- ・地方公営企業の経営健全化
- ・市政の「見える化」の推進

- ・大学連携の推進
- ・広域連携の推進
- ・市有財産の適正管理と有効活用
- ・シェアリングエコノミーの推進 等

ウ 地域の魅力を磨き、全国・全世界とつながり、挑戦し続ける産業のまちをつくる事業

地場産業や地元企業の競争力を強化し、市場を海外にも求め、持続可能な地域経済を構築する。

また、市内外の力を結集し、新たな産業と挑戦する人材を創出する。

さらに、世界に開かれた観光・交流都市を実現する。

【具体的な事業】

- ・基幹産業として水産業の振興
- ・農業の振興
- ・林業の振興
- ・商工業・サービス業の振興
- ・地域経済循環の強化（ローカルファースト）
- ・産業の多様化，起業・創業支援と企業誘致の推進
- ・雇用の安定と労働環境の充実
- ・産業振興に向けた外国人材の積極的活用
- ・国際リニアコライダー等を契機とした産業振興
- ・観光振興に向けたDMOの推進
- ・地域間交流・国際交流の推進 等

エ 結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちをつくる事業

たくさんの笑顔に包まれる，幸せあふれるまちをつくる。

また，働きながら子育てができ，子どもの健やかな成長を地域みんなで支えるまちをつくる。

【具体的な事業】

- ・結婚活動への支援
- ・妊娠・出産・子育て支援の充実
- ・児童福祉の充実 等

オ 人間力・挑戦する心・地域愛を育むまちをつくる事業

教育環境を整え，子どもの生きる力を育む。

また，人生 100 年時代を見据え，生涯学ぶことができ，スポーツ・文化活動に親しめるまちをつくる。

【具体的な事業】

- ・生きる力の育成
- ・社会変化を生み出し未来を創る力の育成
- ・信頼に裏打ちされた魅力ある教育環境づくり
- ・生涯学習・リカレント教育の推進
- ・スポーツの振興
- ・文化芸術の振興と地域文化の継承 等

カ 豊かな自然や食文化を大切にし，誇りに思い，語ることができるまちをつくる事業

自然を「知り」，「残し」，「活かす」社会をつくる。

また，スローシティ・スローフードを推進し，豊かな食材を更に活かすとともに，食文化を次世代に継承する。

【具体的な事業】

- ・自然環境・生活環境の保全
- ・海洋環境の保全
- ・脱炭素社会の構築
- ・循環型社会を目指す廃棄物処理
- ・スローシティ・スローフードの推進
- ・食育・地産地消の推進 等

キ 一人一人が生きがいを持ち，健康で暮らせるまちをつくる事業

心身ともに健康で，いつまでも自分らしく生活できるまちをつくる。

また，いつでも安心して医療が受けられるまちをつくる。

【具体的な事業】

- ・健康づくりの推進
- ・医療の充実 等

ク 自分らしさを生かしながら，思いやり，支え合えるまちをつくる事業

誰もが自分らしく暮らせる福祉のまちをつくる。

また、コミュニティ活動を活発にし、地域、NPO、行政等とのパートナーシップの下、地域課題を解決する。

【具体的な事業】

- ・地域包括ケアシステムの推進
- ・高齢者福祉の充実
- ・障害者福祉の充実
- ・低所得者の自立支援
- ・地域コミュニティ活動の推進
- ・市民活動の推進
- ・移住・定住の促進 等

ケ 高い防災力を維持する災害に強いまちをつくる事業

自助・共助・公助による災害死ゼロを目指す。

【具体的な事業】

- ・防災対策の充実
- ・消防体制の充実 等

コ 安全で安心できる住み続けたいまちをつくる事業

安全で安心して生活できるまちをつくる

また、誰もが快適で暮らしやすいまちをつくる。

【具体的な事業】

- ・平和行政の推進
- ・国民保護の推進
- ・交通安全対策と防犯対策の充実
- ・市民相談体制の充実
- ・消費者の安全・安心の確保
- ・道路網の整備
- ・市街地の整備
- ・公園整備と緑化推進
- ・住環境の充実
- ・上水道の整備

- ・生活排水処理の推進と下水道の整備
- ・墓地・斎場の整備
- ・公共交通網の整備
- ・地域情報化の推進 等

※ なお、詳細は第2次気仙沼市総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,000,000 千円（2025年度～2026年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度行う第2次気仙沼市総合計画の進行管理において、各数値目標の達成状況を測定し、速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

その他、総合計画改定のタイミング等を捉えて、K P I達成状況を取りまとめ、外部有識者等による評価を行い、必要に応じて今後の取組方針に反映させる。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2027年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2027年3月31日まで